

《最近の県内経済》 (2025年10月を中心として)

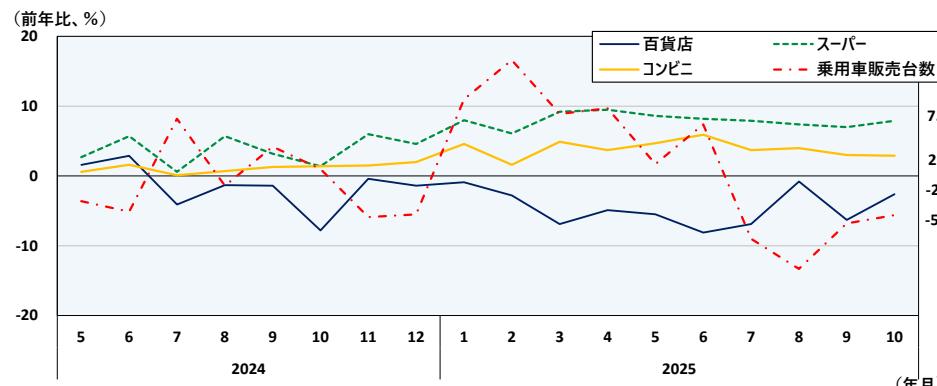
今月の概要

緩やかに回復している



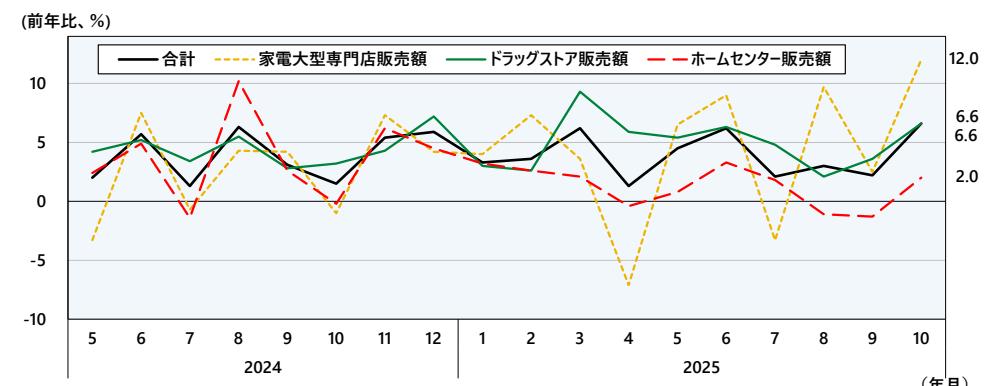
1 個人消費～緩やかに持ち直している ➡

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

10月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は109億円で前年比2.6%減（16か月連続の減少）、スーパーは1,151億円で前月に比べ伸びを高め同7.9%の増加（37か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は599億円で同2.9%増加（18か月連続の増加）した。食料品は節約志向による買上点数の減少傾向が見られたが、単価上昇により販売額は伸長した。

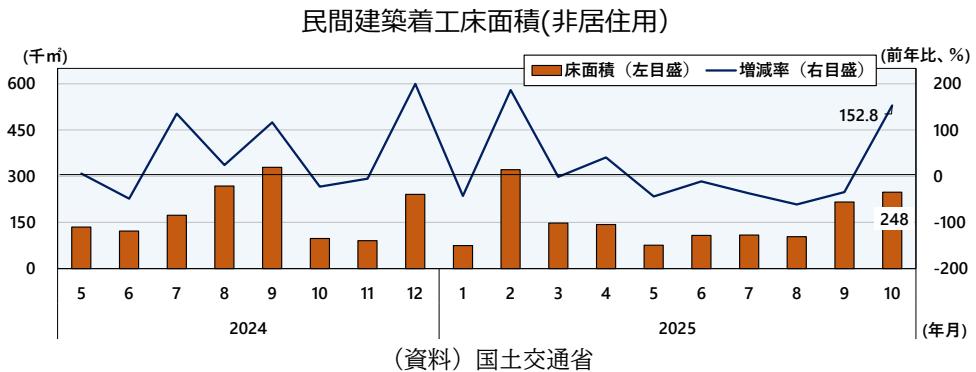
また、乗用車販売は、前年比5.6%減と4か月連続の減少となった。内訳をみると、軽自動車が同6.5%増（4か月連続の増加）となったものの、普通車が同10.4%減（4か月連続の減少）、小型車が同12.2%減（4か月連続の減少）となつた。

10月の専門量販店販売額は824億円で前年比6.6%増と37か月連続で増加した。内訳をみると、家電大型専門店が171億円で同12.0%増（3か月連続の増加）、ドラッグストアが465億円で同6.6%増（41か月連続の増加）、ホームセンターが188億円で同2.0%増（3か月ぶりの増加）といずれも増加した。

家電大型専門店では、パソコンの買い替え需要が、売上増に大きく寄与した。ドラッグストアでは調剤医薬品、ホームセンターではオフィス・カルチャーが寄与した。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、8月〈35.8〉、9月〈36.3〉、10月〈37.2〉と推移している。

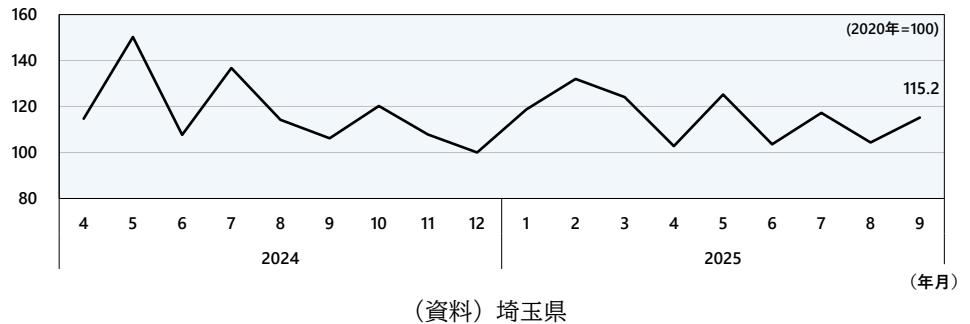
2 設備投資～増加基調にある



10月の民間建築着工床面積(非居住用)は、248千m²で前年比152.8%増加した(5か月後方移動平均では、前年比20.7%減)。

用途別にみると、工場及び作業場は減少したものの、事務所、店舗、倉庫、学校の校舎、病院・診療所は増加した。

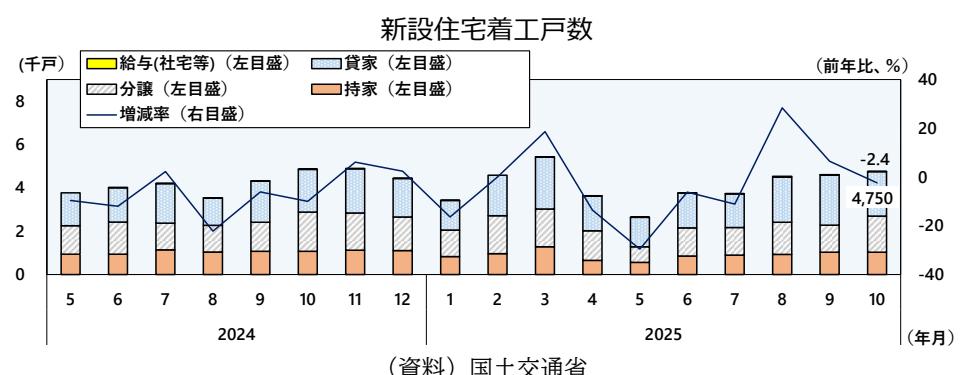
資本財出荷指数(季節調整済)



9月の資本財出荷指数(季節調整済)は115.2で、前月比10.3%増加した(5か月後方移動平均では、113.1で、前年比8.0%減)。

当研究所が7～8月にかけて実施した県内企業の2025年度設備投資計画額は、前年度比3割程度の増加となっている。

3 住宅建設～弱含んでいる



10月の新設住宅着工戸数は、4,750戸で前年比2.4%減少した(5か月後方移動平均では、4,280戸、前年比2.2%増)。利用関係別にみると、貸家(2,049戸)が同3.9%増、分譲一戸建て(1,127戸)が同2.1%増となったものの、持家(1,032戸)が同3.6%減、分譲マンション(526戸)が同21.0%減となった。

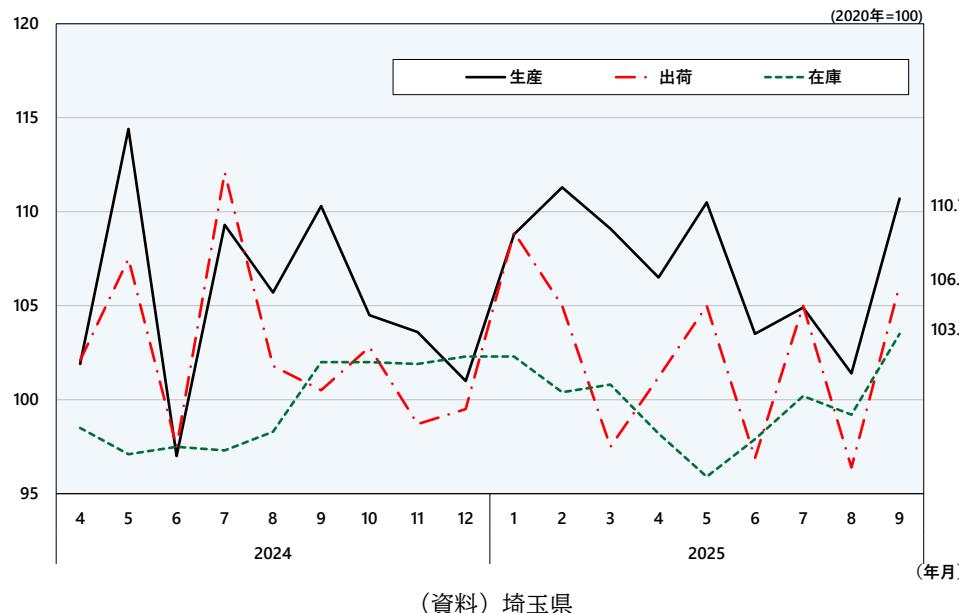
4 公共工事～底堅く推移している



10月の公共工事請負額は333億円、前年比26.6%減少した。5か月後方移動平均では、589億円、前年比16.8%増で推移。発注者別の前年比をみると国は増加したものの、独立行政法人等、都道府県、市区町村、地方公社は減少した。

5 生産活動～底堅く推移している

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



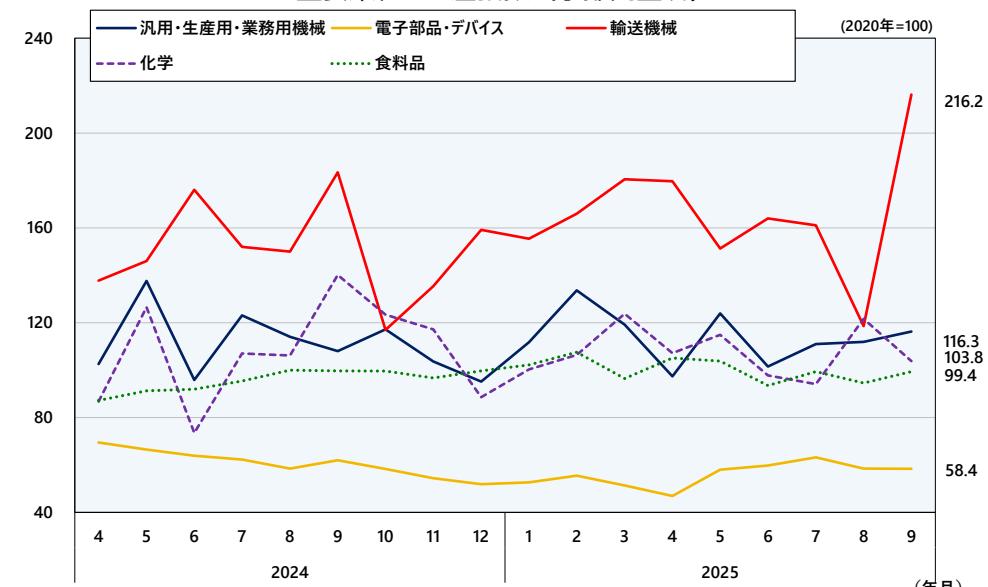
(資料) 埼玉県

9月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、110.7で前月比9.2%上昇（2か月ぶりの上昇）した。化学（医薬品、ビタミン含有保健剤）、パルプ・紙・紙加工品（段ボール原紙、紙器用板紙）などが低下したが、輸送機械（航空機用部品、乗用車）、食料品（チョコレート類、ビスケット類）などが上昇した。

出荷指数（同）は、106.1で同10.1%上昇（2か月ぶりの上昇）した。情報通信機械（ガス警報器、交換機）、業務用機械（精密測定器、分析機器）などが低下したが、輸送機械（乗用車、自動車エンジン）、化学（医薬品、印刷インキ）などが上昇した。

在庫指数（同）は、103.5で同4.3%上昇（2か月ぶりの上昇）した。生産用機械（マシニングセンタ、研削盤）、パルプ・紙・紙加工品（段ボール原紙、紙器用板紙）などが低下したが、情報通信機械（金銭登録機（端末機能付）、ガス警報器）、輸送機械（乗用車、普通トラック）などが上昇した。

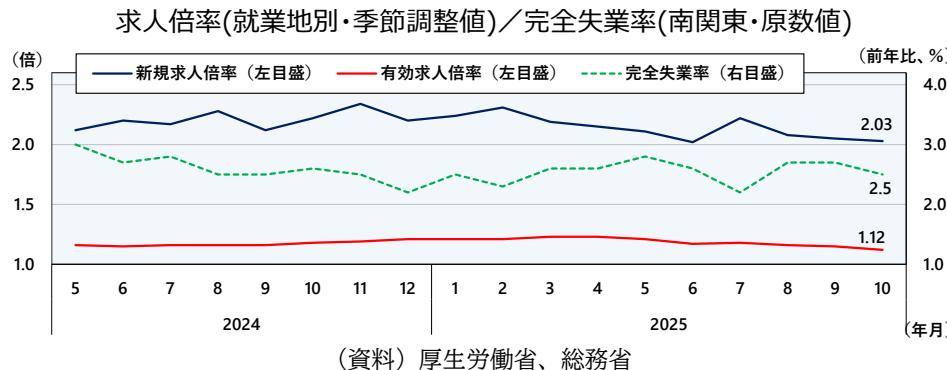
主要業種の生産指数（季節調整済）



(資料) 埼玉県

- 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、116.3で前月比3.9%上昇し、3か月連続の上昇となった。
- 電子部品・デバイス（同）は、58.4で同0.2%低下し、2か月連続の低下となった。
- 輸送機械（同）は、216.2で同82.3%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- 化学（同）は、103.8で同14.6%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- 食料品（同）は、99.4で同5.1%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

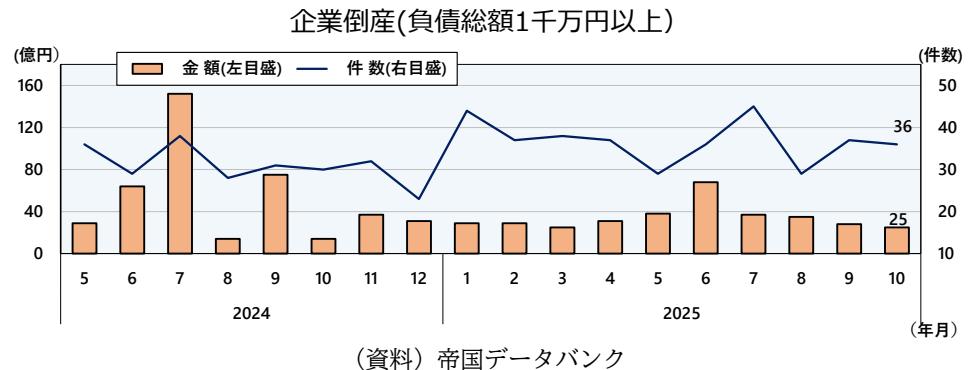
6 雇用情勢～緩やかに持ち直している ➡



10月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.12倍で前月比0.03ポイント低下した。新規求人倍率(同)は、2.03倍で同比0.02ポイント低下した。

また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.5%で前年同月比0.1%低下した(前年同月比3か月ぶりの低下)。

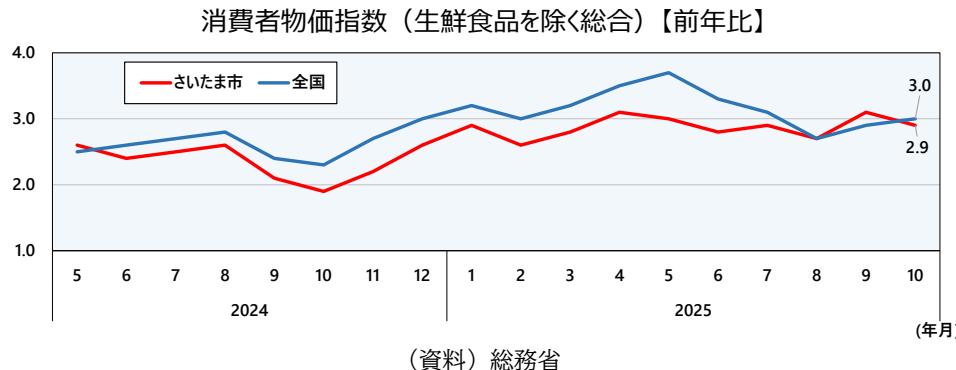
7 企業倒産～緩やかな増加基調にある ➡



10月の企業倒産件数は36件で前年同月比6件増加した。また、負債総額は25億円で同比11億円増加した(5か月移動平均では、件数は前年比6件増加、負債総額は同24億円の減少)。

業種別にみると、製造業が最多で8件、次いで小売業が7件、建設業が6件となっている。主因別では、販売不振が30件となっている。

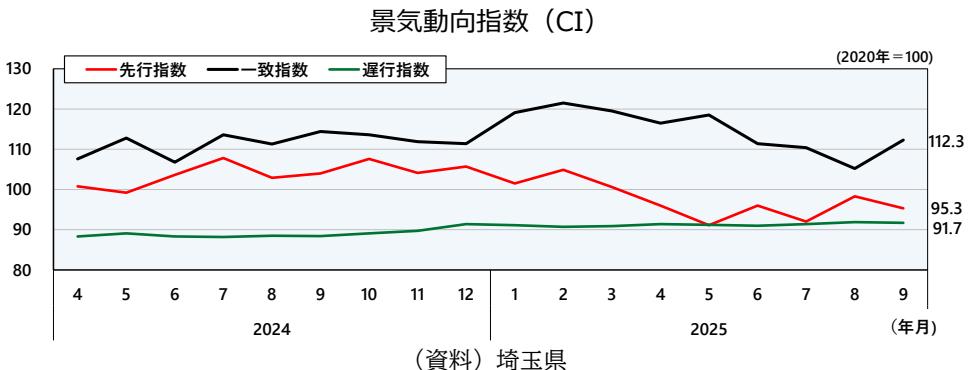
8 消費者物価～緩やかに上昇している ➡



10月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、110.9で前年同月比2.9%上昇した(49か月連続の前年同月比上昇)。

食料(穀類(うるち米など))、交通・通信(自動車等関係費(自動車整備費(パンク修理)など))などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI)～下方への局面変化を示している



- 9月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、112.3で前月比7.1ポイント上昇し、4か月ぶりの上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、95.3で同3.0ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、91.7で同0.2ポイント下降し、3か月ぶりの下降となった。